令和6年度　江戸川区立篠崎第四小学校　学校関係者評価報告書（学校経営計画・学校関係者評価シート）

学校教育目標	・「よく考え、つくり出す子」 ・「みんなとともにのびる子」 ・「たくましく生きる子」		目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	・安全で心地よい学校・子供を大事にする学校・学ぶ喜びを知る学校・地域と共に歩む学校 ・主体的に学び、自分の成長を喜び、学びに意欲をもって取り組む子・自他の生命を尊び生命相手の立場や気持ちを考えて行動できる子・運動の楽しさを味わい心身ともに健康で活力ある生活を送ることができる子 ・子供を愛し大切にする教師・学校の仲間、地域、自分を大切にする教師・専門性を持ち、教育のプロとして自己肯定感を持つ教師
前年度までの本校の現状	成果	○校内研究では、全学級、全教員が授業を行うことができた。授業の構成の研究を深めた。 ○「運動取組カード」を作成し、２学期に掲示することができた。 ○帰りの会等で児童の「よいところ」を見つけ、共有することができた。 ○学校ホームページは、毎月更新することができた。	課題	●校内CDTテストでは、国語は４・６年、算数は５・６年が正答率80%を超えることができなかった。 ●外部機関との連携をさらに行っていきたい。 ●月に１回の一斉退勤日を会議無しの日としたが仕事量は減らすことができず、時間外の勤務者が多くなってしまっている ●SSS等を週に１回以上活用することができた。時期によって差があるので、定期的に活用していきたい。

重点	取組項目	具体的な取組内容	数値目標	達成度		「中間」自己（学校）評価(A～D)		「中間」学校関係者評価(A～D)		「年度末」自己（学校）評価（A～D）		「年度末」学校関係者評価（A～D）		次年度に向けた改善案
				９月	２月	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	評価	コメント	
学力の向上	基礎基本の定着とそのための学習の習慣化	・ベーシックタイムの実施 ・篠四スタンダードの徹底 ・家庭と連携した毎日の家庭学習	基礎基本の定着を図る教育活動の実施の肯定的意見の割合を８０％以上。											
	個に応じた指導の充実	・校内研究を生かした授業改善（ユニバーサルデザイン）授業に意欲的に取組む ・ICTの活用	学習に楽しく取り組んでいるの肯定的意見の割合を８０％以上。											
	○読書科の更なる充実	・篠崎子ども図書館による資料準備・整備を活用 ・学校応援団との連携 ・読書の時間の確保	図書等を活用した学習に取り組めているの肯定的意見の割合を８０％以上											
体力の向上	体力向上の視点に立った取り組みの実施	年間を通した縄跳び運動の取り組み	体力向上を図っているの肯定的意見の割合を８０％以上。											
	歯の健康の意識化 よい生活習慣の維持と改善	毎月の歯の健康についての啓発の取り組み 食育・家庭と連携した生活リズム週間の取り組み	全児童の給食後の歯磨きの実施 フッ化物洗口の２学期の実施											
	行事を通した体力向上	体育学習発表会での意欲的な取り組み スポーツテストへのめあてを持った取り組み	振り返りカード等を活用した行事ごとの振り返りの実施											
共生社会の実現に向けた教育の推進	他者との気持ちのよいコミュニケーション	あいさつ運動の取り組み 篠四スタンダードの全員による意識化	篠四スタンダードに基づき気持ちの良い生活にの肯定的意見の割合を８０％以上											
	ユニバーサルデザインを取り入れた個に応じた学習の工夫。	巡回指導教員や特別支援教室専門員の活用と連携	指導記録に細かい記録欄を作り、毎回、指導後の記録を作成し、校内で共有する											
	特別支援教室の活用促進	特別支援教室について保護者への理解啓発	HPでの紹介の実施 コーディネーター・SCによる面談を希望者に適宜行う											
不登校・いじめ対	いじめアンケートの確実な実施と対応	全児童にアンケートを毎学期実施するとともに、全員面接を実施する。	いじめに対する適切な指導の肯定的意見の割合を８０％以上。											
	豊かな人間性の育成	あいさつ運動への取り組み 異学年交流（なかよし班）等の活動。	学校が楽しいの肯定的意見の割合を８０％以上。											

応の充実	豊かな人間性の育成	道徳教育の充実 情報モラル教育の充実	年間3回以上のいじめ防止の授業の実施。情報モラルの授業の全学年での実施											
学校（園）の実現 地域社会に開かれた	学校からの情報の積極的発信	個人面談、保護者会、各種便り、HPでの情報発信 tetoruによる情報発信	・HPの活用等により連携しての肯定的意見の割合を８０％以上											
	学校関係者評価の充実	・学校アンケートの実施 ・学校評議員との連携 ・町会との連携	・学校アンケートを２回行う。 ・評議員会を３回以上実施する。											
	PTAとの連携	・運営委員会 ・周年実行委員会 ・学校応援団の拡充	・相談しやすい開かれた学校の肯定的意見の割合を８０％以上。											
教育の展開 特色ある	ユニバーサルデザインの活用による主体的に学ぶ授業方法の工夫	・ユニバーサルデザインを取り入れた、わかりやすい授業の工夫。意欲を高める工夫。	・全学年全学級による授業研究を行い、算数授業スタンダードを推進する。											
	縦割り班等異学年交流による共にのびる子の育成	・なかよし班により、思いやりの心、責任感、自己有用感等の醸成をすすめる。 ・ペア学級の交流	・なかよし班遊びを６回以上行う。 ・ペア学年の学習交流を各学年で行う											
	6年生全員参加のマーチングバンド活動	・鹿骨区民館祭りへの参加 ・発表の場を設定する。	・全体発表を３回以上行う。											